

## 清和会西川病院の取り組み

### 認知症疾患医療センター

平成31年4月に清和会西川病院は、県より認知症疾患医療センターに選定されました。認知症医療センターに選定されてから、認知症の方の理解に向けより意識を高めています。そこで、令和1年度は、「清和会職員はみんな認知症サポーターになろう！」を合い言葉に、認知症サポーター研修を開催しました。令和2年8月末まで、研修会を3回開催し、サポーターは職員数の2/3以上に達しています。認知症サポーターになるとオレンジのリングがもらえます。職員は名札に付け仕事をしています。病院の入り口にはサポーター施設である口バのステッカーも貼られています。



令和1年10月に行われたしおさい祭りでは、全国的に行われている「RAN伴」のオープニングを西川病院で行いました。オレンジのTシャツを着た当事者さんや家族、地域で活動している支援者、県立大学の学生さんなど幅広くさまざまな方（総勢71名）が参加し市内を走り抜けました。駅北フェスタにも寄りましたので見かけた方もおられたのではないのでしょうか。

「RAN伴」の目的は、認知症の方やその家族の方々など、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する活動の啓発とPRです。当日は、神楽同好会の盛大なお囃子で見送りました。参加者の方には「浜田らしくてとても素晴らしかった」と喜んでいただきました。今後も清和会西川病院は認知症医療センターとして、その活動を支援していきます。



### 〈編集後記〉

みなさんこんにちは。

猛暑と新型コロナウイルスの感染防止対策に毎日頑張っておられると思います。令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定されていた計画が実施されない状況が続いています。そこで今年度の支部だよりは、各施設の取り組みを紹介するという内容にしました。趣旨をご理解いただき、今後ご協力をお願いします。

## 浜田支部だより

令和2年9月発行  
島根県看護協会浜田支部  
発行責任者 大濱 理砂

### ごあいさつ



島根県看護協会浜田支部長  
済生会江津総合病院 大濱 理砂

今年度より浜田支部長を務めさせていただきます。島根県済生会江津総合病院 大濱理砂と申します。

会員の皆様には、職場のみならず社会・家庭生活でも新型コロナウイルス感染症対策に日々最善を尽くし、収束の目途のない活動に対してのご心労お察しいたします。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴いこれまでの生活様式が一変させられ、支部活動の縮小も余儀なくされております。全国的にも記念行事を含め様々な行事の中止だけでなく、就業制限など人々の活動が強制的に停止させられるという人生で初めての経験をしました。更に県内では全国で初となる最大級のクラスターが発生し、感染拡大防止の対策強化が図られています。医療従事者である我々もこれまでの感染対策を更に強化し、改めて感染拡大防止に努めなければならないと気持ちの引き締まる思いです。

支部活動につきましては現在県内の感染状況を見ながら、1日も早い支部活動の再開に向け役員一同思案しておりますが、役員会の開催もままならず活動の再開が遅れておりますこと会員の皆様にお詫び申し上げます。

今年はナイチンゲール生誕200年を迎え、県協会創立40周年という記念の年です。Nursing Nowキャンペーンのテーマ「看護の力で健康な社会を！」の実現と県協会の「人々の生活を地域で支える」為の各種事業の取り組みを地域の視点で支部活動に繋げ、会員の皆様と記憶に残る年にしていきたいと考えております。今後は活動自粛から感染防止に努めつつ新しい生活様式を検討し、徐々に支部活動を再開していきたいと考えております。再開の際には会員の皆様の感染リスク回避を十分に検討した上で支部活動を進めたいと思います。

予想外の事態で、戸惑いも多く皆様にはご迷惑をおかけしております。With コロナの新しい時代の活動に向け、微力ではありますが会員の皆様のご指導、ご協力を頂きながら務めさせていただきます。何卒よろしくお願い致します。





## 令和2年度役員紹介

役員名	職種	氏名	所属	
支部長	看護師	大濱理砂	済生会江津総合病院	新
第一副支部長	看護師	高脇典子	西部島根医療福祉センター	新
第二副支部長	看護師	沖田美佐子	西川病院	
会計	保健師	浜口美穂	浜田医療センター	新
班長(書記)	保健師	宮本寛子	浜田保健所	
班長(監事)	看護師	中村さちえ	訪問看護ステーションほっと	
	看護師	安達祐子	済生会江津総合病院	新



西部島根医療福祉センター 高脇 典子

私は主に、重症心身障害児者の看護に携わっています。医療機関の機能分化がすすめられる中、役員活動を通じて、他医療機関及び行政の方と関わる機会を頂きましたので、医療・福祉の様々な場で、より良い支援を提供するために連携が深まればと思っています。

第一副支部長の役割のひとつに、「まちの保健室」事業があります。現在は、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を見合わせていますが、開催時期を見極めながら、看護協会の活動がより一層多くの方々に知っていただけるよう努めていきます。

初めての役員で、不慣れな点があるかと思いますが、浜田支部のみなさんと一緒に精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



浜田医療センター 浜口 美穂

この度、令和2年度の浜田支部の会計を務めさせて頂くことになりました。支部役員は初めてであり、自分がどう行動していけばよいか右も左も分からない状況ですが、役員の皆様にご指導を頂きながら役割を果たし、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



浜田保健所 宮本 寛子

今年の4月から書記をしています。任期途中からの交代となり、初めて役員になりました。自分の役割もよくわからないままのスタートとなりましたが、ほかの役員の方々に助けをもらいながら活動しています。私は県職員なので島根県内で職場の異動があります。現在浜田での勤務

が2年目になります。

私は現在、難病などの支援に関わらせていただいています。業務を担当するのは浜田に来て

初めてとなりますが、日々たくさんの関係者の皆さんに教えていただきながら従事しています。今回役員になったことで正直大変なことも多いですが、仕事だけでは繋がれなかった方々と知り合いになることもできました。このようなご縁も大切にしながら役員も頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします！！



済生会江津総合病院 安達 祐子

この度幹事をさせて頂くことになりました。初めての事で不安な気持ちですが、役員の皆様にご指導頂きながら活動していきたいと思っています。

コロナ禍のなか、他施設や地域の方々との交流の機会は限られると思いますが、大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 在宅支援を中心に事業展開

(有)ホットケアセンター 代表取締役 山根 優子

弊社は浜田市内にあり現在、看護師22名(うち2名は居宅)・リハスタッフ6名・ケアマネ4名、介護福祉士・初任者研修終了者・事務職員他、総勢70人の会社です。平成16年に創設し、翌年訪問看護ステーション・訪問介護・居宅介護支援事業所を開設しました。重度の利用者がショートステイやデイサービスを十分利用できず、ご家族の方が疲弊して入院や入所を選択せざるを得ない状況に長年、訪問看護師としてジレンマを感じ、安心して泊まれる施設を作りたいと思っておりました。平成12年度介護保険制度改正で複合型小規模多機能型居宅介護事業(現在の看多機)が新設されたため、翌年熱田町に新社屋を建設。1階を看多機、2階を本社事務と訪問系事務所とし、地域に暮らす介護予防から重度の方、また障害児・ターミナルケアまで幅広く対応しています。訪問看護利用者は140名で、訪問リハビリも行っています。一人の利用者の方が、状態の変化によって法人内外のサービスを使い、状態を改善できたり、入院を回避したりと常に連携を図りながら流動的な支援を行っています。平成18年には殿町に通所介護(短時間リハビリデイサービス)を開設し、運営しています。弊社は看護を強みとした専門職集団で、看多機と訪問看護の影響で他事業所も重症者が多く、3事業所が365日稼働しています。近年は認知症・老々介護・独居等地域の課題が多く、介護・医療関係機関や行政との連携が益々求められています。「地域包括ケアシステムの推進はどのような状態であっても、必要に応じた医療・福祉・介護サービス等が受けられ、地域で暮らし続けることができること」を目指しています。悩みながら行動する毎日ですが、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

